

2018-2019 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 4



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018～2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになろう」



国際ロータリー第2510地区
2018-2019年度地区目標

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう

- (1) 会員の維持、増加の推進
- (2) 女性会員の増強
- (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進

2. ロータリーの認識・理解を深めよう

- (1) 会員研修の充実・強化
- (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
- (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進

3. 地域社会との関わり合いを深めよう

- (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
- (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
- (3) 広聴活動の推進

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●新会員のご紹介/訃報/幹事変更のお知らせ/米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	10
●国際奉仕検証ツアーから学ぶロータリー	2	●ハイライトよねやま	11
●2018-2019年度 米山記念奨学生修了式	5	●ロータリーコーディネーターNEWS	12
●「第3回学友交流会・帰国報告会」を終えて	6	●公平平等と尊敬信頼	13
●国際ロータリー第2510地区会長エレクト研修セミナーに160人が参加、 ロータリー財団・米山セミナーも開催	7	●地区カレンダー(4月・5月)	14
●Challenge & Opportunités 2018-19	8	●出席率・会員数	15
		●ハンブルグ国際大会のご案内	16



今後のロータリーに期待すること その4 — 時代背景（経済、テクノロジー、 社会意識）とロータリー活動 —

国際ロータリー 第2510地区

2018-2019年度ガバナー **小山 司**
(札幌RC)

周知の通り、来年2020年は日本のロータリー100周年を迎えます。この間に起きた経済、テクノロジー、社会意識などの変化は著しく、それらの時々時代背景に対応して、日本のロータリーは大きく変遷しながら今日の発展に至ったと言えます。この歴史的節目に当たり、私たちロータリアンには、「先人より受け継いだロータリーをさらに発展させ次世代に受け渡すこと」を、先人諸兄から託されているという使命の自覚が必要になります。正しい問いかけと対話を重視し、ロータリーの理解を深め、持続可能なロータリーを目指すためにも、時代の背景要因についての分析と考察が重要となります。

最初に日本のロータリー会員数の問題を取り上げます。日本のロータリー会員数は1997年をピークに1998年から減少の一途をたどり、2000年を100とすると、世界は103～104、日本は70となっています。欧米先進諸国も減少傾向を示し、アジア、アフリカの等の途上国の増強が先進国の目減りを補い、この20年間、世界のロータリー会員数は120万人を維持していると言えます。

日本の会員数の推移は経済状況、すなわちバブル経済、バブル崩壊の展開と明らかに相関しています。経済成長の側面から見ても、先進国は大きな経済成長の望めない「失われた」時代に入っています。基幹的なインフラが整ってしまった成熟社会では、以前のような活発な消費活動は望むべくもなく、これは経済の自然過程であって、もう回復することはないでしょう。ガバナー月信9月号でも取り上げた日本の人口減少問題とともに、今後の会員増強に長期にわたって阻害的に働く要因として、経済的要因は無視できません。

次に1980年代から展開されているテクノロジー、特に情報産業の技術革新(ICT, AI)に注目されます。第1次産業革命がエネルギー革命であったのに対し、ICTやAIによる革命は知的労働や情報の革命であることから、これまで良い教育を受けて良い職業についていた人たちが職を奪われていくという議論があります。つまり、一部の資本家がコストダウンのメリットを享受する一方で、高所得者と低所得者の格差が広がり、中間層が消えていくというのです。

1993～2010年のEU16か国について、各国の仕事を賃金で低中高の3つに分け、それぞれの割合が各国でどう変化したかを見た調査があります。アイルランドにおいては、低賃金層が4%増加し、中間層が15%減り、高賃金層が

11%増えていたということです。今後とも、このような中抜き現象があらゆる国で起こることが想定されます。テクノロジーの革新が産業構造や就業構造を大きく変えていると言えます。これまでのロータリアンの多くが健全な中間市民層によって構成されてきた事実を踏まえ、将来の会員増強策において考慮すべき現象といえます。

最後に社会意識の変化とロータリーの関連について論じることになります。どの社会にも独自の道徳体系があり、社会意識の根幹を形成します。道徳体系とは、その社会で多くの人が共有する規範、常識、心情、行動習慣の集合といえます。道徳体系は、社会がその時点での時代背景に集団として反応した結果、生じたものです。したがって、社会の中で生きる人々の人間性に大きな影響を与え、その変化は社会意識の変化として表現されます。

ここで社会意識の変化の全てを論じることはできませんが、私たちの生きる社会は、過去に比べ、個人主義の度合いが強くなった社会だという点に触れておきたいと思います。自己抑制が奨励された時代から、自己表現が促される時代へと変化したと言い換えることも出来ます。この数十年來、自尊心を持つこと、自己を主張し、自己を尊重することが好ましいとする文化、人間を外から目に見える能力や成果で評価する文化が到来したことは明白です。また、能力主義の浸透、個人間の競争の激化もそれに加わりました。それは「大きい私」の時代への変遷と言ってもいいでしょう。

何よりも個人を優先する時代なので、必然的に組織は後回しになるということです。私たちは、自分の思い通りに行動できる自由、自分の生き方を自分で選べる自由を非常に大切にします。一定の組織や制度に合わせるために自分らしさを犠牲にすることは決してありません。所属する組織も、少しでも自分に合わないと思えば簡単にそこを去ります。人生の意味は、自分という人間を自分の力で作っていくことにあると考えます。あらゆる努力はその目的のためにするし、あらゆる選択もそのためにするのです。現代では、組織人間になりたい人はますます少なくなっていくでしょう。

今後の若い世代を対象とした増強策について、上述した社会意識の変化を踏まえたうえで、持続可能な絶え間ない変革に向けて、精細な現状分析と幅広い対話を呼び起こすことが必要ではないでしょうか。



国際奉仕検証ツアーから 学ぶロータリー

国際ロータリー第2510地区

地区国際奉仕委員 **田口 廣**
(千歳セントラルRC)

2002-2003年、私が千歳セントラルRC会長の年度に千歳RCと共同で「スリランカにベッドを送る事業」が展開され、私達メンバー全員で積み込んだベッドが現地の病院で大いに役に立っている事が後のガバナー月信に載っていました。これまでロータリーであまり目立った活動もしていなかった私に一枚の写真が大きな感動を与えてくれました。この年度の小林博ガバナーに「今度現地に行こう」と声を掛けられた翌年、2004年に当時はWCSと呼ばれていた国際奉仕委員として地区に委嘱されることになりました。現在当地区で大いに活躍され、後に国際奉仕委員長を務めて頂いた札幌北RCの出村会員と同期のWCSデビューだったと記憶しています。



千歳セントラルRCが2006年から事業に参加し、2007年2月に私にとって最初の検証ツアーが始まりました。この年はタイ北部チェンマイ地区のチェックダム事業検証に委員会メンバー6名で参加しました。この地区は山岳地帯で雨期になると洪水になりやすく、集落では鉄砲水による多くの死者が出る年もあると報告されていました。現地に行くとダムと言うより小さな堰と言ったほうがぴったりなものでした。一つの尾根に60~80基のダムを村の人々、学生、軍人さん達で完成させると、小さなダムが大きな力となって鉄砲水を防いでくれます。

2009年のツアーには委員会メンバー8名とボランティアの皆さんでダムを一基完成させてきました。皆さんと一緒に汗を流して造った達成感と現地の人々の笑顔が忘れられません。またこのチェンマイ地区では浄水器設置事業が行われました。それまでは雨季の間に大きな瓶や井戸に溜めておいた不衛生な雨水を乾季の間に飲んでいました。タイ北部・東北部は地下水を汲みあげても塩分や、不純物が多く飲み水には適さないようですが、煮沸して飲んでいと報告されていました。しかし浄水器が設置された小学校では子ども達はもちろん村の人々も安心・安全な、おいしい命の水が飲めるようになりました。私も飲んでみましたが、日本の水道水となら変わらないおいしい水でした。



山岳地帯の小学校に通うには何時間もかかる子ども達のために「通学用自転車」の寄贈や「図書館設置・奨学金授与」等の識字率を高めるための事業が展開されています。タイ東部のノンカイ地区にはタイでもっとも貧困が厳しい地域が多く、子ども達のための浄水器設置、図書寄贈、図書館設置、奨学金、校舎修繕等の事業が展開されています。またこの地域の国立病院に医療機器の寄贈や貧しくて病院に通えない子ども達のための簡単な移動歯科事業なども展開されております。

2004年のスマトラ沖で発生した大地震による津波の影響で死者・行方不明者は28万人に達し、自然災害の恐ろしさ、人の力の無力さを感じました。このため、インドネシア・ジョグジャカルタ地区では多くの親を亡くした子ども達が孤児として引き取られました。現地の孤児院では床にゴザだけで寝ていたり、不衛生な水を飲んでいたり、劣悪な環境の

中での生活を強いられていました。ここでは浄水器設置・遊具・図書・寝具寄贈の事業が展開され、寝具を受け取った男の子は「マットレスの上で寝るのは夢のようだ」と話してくれました。



タイ・ノンカイのロイヤルキングスクールは両親のいない子、ストリートチルドレン、虐待など様々な悲しい想いを背負って生きてきた子ども達がタイ全土から集まり、小学生から高校生まで、学びながら生活していました。卒業後に再び、ストリートチルドレンや路上生活に戻らないように子ども達の将来のためにも手に職をつけてもらおうとVTT職業訓練事業が2015年頃から調理・裁縫・理容と本格的に始まりました。調理の部ではホテルロイトン札幌総支配人の札幌北RC大浦会員、裁縫の部では札幌「カナリヤ」の手稲RC渡辺会員が、現地に滞在しながら手腕を発揮していただいたお陰で、私たちが翌年訪問した際には、ロイトン札幌仕込みの美味しいオムレツを口にすることができました。



また、渡辺会員指導のミニファッションショーでは女の子、男の子それぞれに似合った洋装で、すぐにでも町に繰り出せるような可愛らしい姿でした。



理容の部では昨年は国立パストガバナーと令夫人が、今年是小山ガバナー令夫人と熊澤パストガバナーがシャンプーと整髪を生徒達にしてもらい、ご機嫌なご様子でした。この様にプロの手ほどきによる子ども達の技術向上には感心するばかりで、現地の商工会議所が就職先を斡旋する日は目前です。こうして事業を展開する中で最も大切な事は、やはり現地を訪れ事業を確認・検証する事であり、現地の皆さんと現地のロータリアンと共に事業の

完了の喜びを分かち合うことだと思います。更には検証に参加されたほとんどのクラブが事業を継続しています。実際に現地を訪れた時に見た、子ども達や集落の皆さんの笑顔が心に残り、それが活力になり、事業を続けてくれるのだと思います。ここわずか数年でロータリーの事業のかたちが大きく変わってきています。物を送るだけの事業から、現地のロータリアンと今・何処で・何が必要か、将来何が必要になるかを検討した上で事業が展開されています。

2011年東北大震災の時にはタイのロータリーと当地区の震災支援プロジェクトによる「放射能測定器」「甲状腺検査車両」「キッズキャンプ」が展開されました。また昨年9月に起きた震度7の北海道胆振東部地震では、日本全国からはもちろんタイ・ノンカイからも早々のご支援と温かい励ましのお言葉を頂きました。本当にありがたく今も胸が熱くなります。以上がこれまで札幌東RCの土倉委員長から始まり、室蘭RCの斉藤会員、白老RCの手塚会員、札幌北RCの出村会員、砂川RCの松原会員、そして現在の谷口国際奉仕・VTT委員長とそれぞれの委員長のもと地区国際奉仕委員として携わってきた検証ツアーから学んだロータリーの想いであります。皆さま方の暖かいご支援が海を越えて大きな力となってたくさんの人々や子ども達の笑顔を作り出しています。これからも子ども達の笑顔のために国際奉仕支援事業にご協力宜しくお願い致します。



2018-2019年度 米山記念奨学生修了式

2019年3月10日、札幌センチュリーロイヤルホテルにて米山記念奨学生の修了式及び歓送会が開催されました。今年度修了される奨学生は12名です。

修了式では、ご来賓である、塚原房樹(財)米山記念奨学会理事(PG)と小山司ガバナーよりご祝辞のお言葉をいただきました。

修了された12名の奨学生には、大石米山記念奨学・学友委員長より修了証が授与され、カウンセラーの皆様へは、小山ガバナーより感謝状が授与されました。

歓送会では、渡邊恭久規定審議会地区代表議員(PG)のご祝辞・乾杯の発声で祝宴となり、各カウンセラーからは、奨学生とのエピソードをいただき、今後も継続した交流と奨学生の今後の活躍に期待をされておりました。

また、奨学生の皆様は、米山記念奨学生になっ

たことで勉学・研究に専念できたこと、カウンセラーの方に大変お世話になったこと、クラブ例会や各種行事に参加した際にロータリアンの皆様から親身に接していただいた事に感謝の言葉を述べておりました。

その後、朴炫珍米山学友会会長にご挨拶いただき、最後に中締めとして、福田武男ガバナーエレクトよりご祝辞をいただき閉会となりました。





「第3回学友交流会・ 帰国報告会」を終えて

国際ロータリー第2510地区

地区学友委員会 委員長 **菅原 秀二**
(札幌大通公園RC)

2019年2月9日の土曜日に、ロイトン札幌にて「第3回学友交流会・帰国報告会」が開催されました。「学友交流会」と名称を変更したのは、よりこの会の性格を明確にしようとの委員の皆さんの意見を受けてのことでした。しかし、残念ながら時期が「雪まつり」と重なり、地方の方が来ることが難しかったのか、あるいは、インフルエンザの流行期とも重なったのが悪かったのか、昨年より20名ほど少ない出席者でした。また、インフルエンザの影響で、報告者が2名欠席となり、急きょプログラム内容を変えて対応しました。この点では、皆様にご迷惑をおかけしました。来年度は、「雪まつり」の時期を避けて開催したいと考えております。

さて、まず第1部では、「学友とロータリー」と題し、個別の学友体験報告が行われました。インターアクトからは、北海高校インターアクトボランティア部の堀蓮さんと小池純矢さん、ロータアクト学友として山本彩夏さん、RYLA学友として坂本ひかりさんが、各自の体験を語ってくれました。報告予定だった米山学友の高さんはインフルエンザのため、お休みとなりました。ピンチヒッターとして、当日ご出席いただいた米山学友会副会長の鄭子龍さんが、ロータリーとのかかわりでご自身の体験を語っていただきました。

これに続き、第2部では「帰国報告会」と題して、海外でのプログラムの体験を語っていただきました。最初の報告者は、青少年交換プログラムの学友である土屋進ノ介さんの報告の予定でしたが、こちらもインフルエ

ンザで欠席となってしまいました。代わりに、池田青少年交換副委員長より、現在、交換留学生として当地区に滞在している交換留学学生、トゥオームス君(フィンランド)とエロイーズさん(オーストラリア)の紹介がありました。次に、財団奨学生として派遣された学友、高橋侑子さんが現在のタイでの活躍の様子を、ドイツに派遣されている覚知頌春さんが現地から留学生活の様子を、映像で報告して下さいました。最後に、タイで活動を続けているVTT事業について、渡辺里代子さん(札幌手稲RC)にその中の洋裁事業について語っていただきました。皆さん、それぞれに興味深い報告で、楽しみながらも知的好奇心を引き立ててくれるような内容だったと思います。

さらに、「懇親会」では、恒例の「新財団奨学生の紹介」と「米山奨学生の紹介」の他に、財団学友会を中心に翻訳した『黄金の輪』の完成を祝う会も催されました。この翻訳を提唱された故石垣パストガバナー令夫人や旧札幌セントラルRCのメンバーも出席され、お話を伺う機会となりました。また、当日出席した、翻訳に携わった財団学友会のメンバーと米山学友会のメンバーがその苦労話を語り、興味深いものがありました。写真はその様子を示したものです。

来年度も学友が交流できる貴重な機会として、「第4回学友交流会・帰国報告会」を企画しますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。





国際ロータリー第2510地区会長エレクト研修セミナーに160人が参加、ロータリー財団・米山セミナーも開催

国際ロータリー第2510地区
次年度地区代表幹事

村田 研一（千歳RC）

国際ロータリー第2510地区の2019-20年度会長エレクト研修セミナーは3月9、10の両日、ANAクラウンプラザホテル千歳で開催されました。

初日のセミナーには約130人が出席しました。小山司ガバナー（札幌RC）の歓迎挨拶の後、福田武男ガバナーエレクトが基調講演をし、次年度のRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」の考え方や次年度の地区目標や具体的な取り組みを冊子やプロジェクターを使って説明しました。

福田ガバナーエレクトは地区年次目標に「自分を見つめ、若者と語らい、未来に向けての行動を！」を掲げ、①手を取り合ってクラブ強化②ロータリー財団への寄付推進とその活用③ロータリーアクトなど若者や新会員の支援の三つを重点に取り組む考えを示しました。

具体的には衛生クラブ設立の奨励、女性会員や40歳未満の会員入会の推進、ガバナー月信の充実とホームページの更新、グローバル補助事業の展開、リーダーシップ研究会セミナーの開催などを例に挙げました。ロータリーアクト会員の拡大と会員間の交流を目的に11月16、17の両日、支笏湖で新会員交流会を計画していることも明らかにしました。

また、私から次期地区代表幹事として、地区組織図や年間事業の予定を説明。地区委員長任期を原則3年とすることやロータリーリーダーシップ研究会(RLI)を新規に設置したほか、事業予定では9月28日に恵庭市内の花夢里パークゴルフ場を会場に記念パークゴルフ大会を初開催、地区大会は10月5日に千歳市内の北ガス文化ホールで開催し、その前日の4日に記念ゴルフ大会を催すことを紹介しました。

今年の研修セミナーでは、講師に第1ゾーン・ロータリーコーディネーターの酒井正人パストガバナーを招聘。出席者とのディスカッション形式で「ロータリーを元気にするために」をテーマに議論を深めました。

酒井パストガバナーは「元気なRCはどんなクラブか」「奉仕活動はどのように選んでいるか」「ロータリーの研修は何かがあるか。研修は必要か」などと出席者に矢継ぎ早に質問。その回答を基にロータリー活動を考えるさまざまな示唆を与えていきました。特に全国のRCが直面する課題に①会員

の高齢化②会員の減少③会員候補者の不在④例会、委員会のマンネリ化—があると、「元気なクラブになるためには会員増強が不可欠」と述べ、女性会員や40歳未満の若い世代や将来につなげてくれる会員が入ってくれる魅力あるクラブかを検証し、多様性と柔軟性のあるクラブ運営を考えていく必要性を強調しました。

RC創設者、ポール・ハリスの「世界はたえず変化している。ロータリーの物語は何度も書き換えなければならない」との言葉を引き合いに、時代や世界の動きに合わせて会員が変化していく心構えの大切さを訴えました。

このほか、次期地区研修リーダーの安孫子建雄パストガバナーをはじめとして、次期研修委員の羽部大仁パストガバナー、嵯峨義輝パストガバナー、武部實パストガバナーが登場。マイロータリーへの登録要請や財団活動資金の仕組みと積極的な活用、会員増強のポイントなどを説明して頂きました。

研修2日目は、ロータリー財団セミナーと米山セミナーで地区財団委員長や米山委員長が参加。財団の補助金プログラムや米山記念奨学会の現状などについて理解を深め、有意義な2日間を過ごしました。



Challenge & Opportunitites 2018-19

今月から3ヶ月にわたりまして当地区に所属するクラブが今年度に取り組みを開始した新たな奉仕活動をこのコラムにて紹介致します。いずれの活動も小山ガバナーが公式訪問時に各クラブから説明を受けられて感銘され、地区内の他のクラブにも今後の活動計画を策定していく上で参考にしたい、と望まれている案件です。今月は江別RCと札幌モーニングRCが空知総合振興局と北海道博物館との共同プロジェクトとしてスタートさせた「原始の森を創るプロジェクト」をご紹介致します。江別市の榎本公園に150年の年月をかけて原始の森を再生させようと言う壮大なプロジェクトです。御一読下さい。

150年先、旧豊平河岸に原始の森を再現する 江別RC・札幌モーニングRC

札幌モーニングRC カミネッコン特別委員会 宮部光幸

カミネッコン植樹

2001年、クラブの社会奉仕・環境保全小委員長に任命された。建築学会の集まりで、石狩市図書館の緑地の植樹で『カミネッコン植樹』の情報を知った。藤学園のボランティアでカミネッコンの実験をしていた。1999年、東三郎北海道大学農学部名誉教授は段ボールで作る植木鉢に3年物の苗をパッケージするバイオブロックを発案。翌年、これを実践するボランティア組織『北国の森づくりサークル』を設立、自ら会長として30人余の活動を開始した。環境植樹を公共工事で行うのは莫大な資金が必要で、その過半は育樹に費やされる。これを住民パワーで行う。『毎日の食事のように、毎日植樹する』というのが、簡略な植樹方法『カミネッコン』。

札幌モーニングRCの植樹と地採(じどり)

2003年、クラブの15周年。井野会長は『なんでも相談』に代わる奉仕活動として『植樹』を継続事業とした。『北国の森づくりサークル』との共同で、学校での児童・学生・後には園児とこれらの父母との地域社会奉仕をはじめた。今年18年目で12000本余の植樹を行っている。ただ、18年の月日は、メンバーの高齢化を招いた。サークルは札幌モーニングRCの他に、襟裳であるとか天売島をはじめ、道内外の各地での植樹に加え、既存林の間伐等の広範な『市民の林業活動』奉仕に明け暮れたが、今は少し離れて活動を見守っている。

しかしながら、サークルからはまだまだ教えを乞うべき智慧を持つことを知らせたのが、『地採(じどり)』。札幌モーニングRCでは、これまでカミネッコン植樹はサークルで種から育てた3年物の苗に頼っていた。サークルの

育苗がメンバーの事情で植樹の苗の供給に不安が高まっており、新たな苗供給の論議となった。地採という方法があると、サークルメンバーが言った。森の樹々の足元に自生する子株を採取する方法がそれ。

江別RCが植樹活動

江別RCが植樹活動をするという。安孫子PGから例会でカミネッコン植樹の話の要請があった。取り敢えず、一通りの方法を説明した。2年ほど前のことだ。結局、植樹は苗を直接定植する在来の方法で実施したとお話があった。カミネッコンをやってみたいという問い合わせはこれまでもあった。しかしながら、バイオブロック造りは一度、先達と一緒にやってコツをつかむことが望ましく、札幌モーニングRCでは森づくりサークルがそれだ。しかし、その後も安孫子PGとは植樹の話は続く。北海道博物館の配信データに『6000年前、縄文海進(海面水位が10m余上昇)の時、江別・野幌丘陵は古石狩湾に突き出た半島だった』というのがあった。半島の東は長沼迄入り込む大湿原。半島西は火山灰大地の谷毎の流入河川敷に加え、これらを合流する暴れ川・豊平川が時々流路を変える大谷地であったとある。この両面の湿地を従えた半島の前は古石狩湾の海だった。

明治の初期、開拓移民の頃、半島は海退(今度は海面水位が10m下降)の結果、丘陵となり大樹の生い茂る原始の森におおわれ、南は島松・恵庭へ延びる。かつての湿原には夕張川・漁川・千歳川が並走する。西は今のもみじ台や厚別川流域を含む大森林。野津幌川、厚別川、月寒川等を合わせ豊平川(旧豊平川)が江別・対雁

で石狩川に合流していた。明治初期、開拓者は小樽船入間から石狩河口港を経て、石狩航路から対雁河港で札幌方向へ乗り換え、豊平川を遡上した。今、この合流点を訪れると丘陵東の大樹生い茂る崖地の下に旧豊平川が続いている。昭和19年、札幌・雁来でこれまでの東方向へ進路を取り対雁に至る旧豊平川は北へまっすぐ伸びる現在の流路にショートカットされた。

対雁の榎本公園に息吹を与えるのは安孫子PGの脳裏にあったが、2年余の有志の対話の中で『野幌丘陵のかつての森林帯』『旧豊平川』『開拓期の札幌への遡行ルート』のキーワードが一つのイメージを得た。『対雁から雁来までの旧豊平川の河岸に太古の森を再現する』というイメージは一つのプロジェクトのとなった。その初段として榎本公園の旧豊平川河岸に野幌丘陵のオリジナルの樹木種を植樹する。

ただ、そんなことはできるのだろうか？

野幌丘陵のオリジナルの樹木種は野幌自然公園にある。が、それは入手可能なのだろうか？サークルの話では北海道森林管理局管轄というので、訪ねる。結果、許可窓口は北海道博物館であり、許可権者は知事であった。ただ、条例により森からのあらゆる物は禁持出だった。その条例を巡って博物館へ2ヶ月程通った。常識的には諦めるという所だ。ただ、例外規定がある。安孫子PGに同行し、判断をお聞きした。

『いいわ、夢があるわ・・・私、応援いたします』というのが説明後の高橋知事の第一声だった。北海道命名150年を迎えた2018年、ロータリークラブは150年先を見据えた旧豊平川植樹を行うという内容を説明した。北海道としても、命名150年という過去の事績を祝うだけでなく、これからの150年を構想するという未来形が知事の共感を得たと思う。その後、博物館との協議は進んだ。植樹へのロータリークラブの責任能力についての考えの説明が続く。

ロータリークラブとは何なのかとの問い。

『国の公共を作るには2つがある。一つは官の作る公共である。もう一つは民の作る公共である。ロータリークラブは民の公共づくりの一助であろうとしている』。森を創るという、長期にわたり、手間暇のかかる仕事を官庁の仕事にした場合、莫大な資金、育樹の手間がかかる。昔からこれは庄屋・肝煎が地域住民の生活サイクルを取り込んだ形で行った業である。今はあらゆる業が金銭

でカウントするため、森づくりの分野は置いてきぼりになった、と説明する。

わかったけれど、公園からの地採は誰が行うのかとの問い。『20年余ボランティアで林業を行っている森づくりサークルの智慧を借りる』。サークルの20年余の実績は先に述べた通り。随分、行政に協力していたことが改めてわかる・・・。

次に、12km余に及ぶ旧豊平川河岸を江別RCと札幌モーニングRCの2ロータリークラブで行えるのか？『これは構想であり、とりあえず江別・榎本公園の河岸から始めるが、きっと共感広がるはずである。また、地域住民も参加してくれると思う。ロータリー地域共同体の形が理想であるが、まだわからない』といった問答が続く。

2019年3月16日午前、『4者協定』の調印式が北海道博物館で執り行われた

2018年も11月を迎えたころ、公園内の道有地の森林の管理者、空知総合振興局が加わり、地採の物理的な分野に話は移る。やがて、『2ロータリークラブ・北海道博物館・空知総合振興局の4者協定』の締結のステージへと移り、山田江別RC会長、露木札幌モーニングRC会長、石森北海道博物館長、佐々木空知総合振興局長が署名した。100本/年、5年継続。支障なければ自動継続。ロータリークラブのこれまでの幾多の実績の成果である。

佐々木局長の御言葉『これから幾多の壁が立ちほかかるだろうが、頑張ってほしい』。石森博物館長の御言葉『森林公園の緑が広がり市民に楽しんでもらえるのは博物館としても望むところ』。

この間、江別RCの江別市との協議が並走していたことは言うまでもない。そして、この件を札幌市にも問い合わせる。旧豊平川の半分は札幌市域であるからだ。非公式なトップの見解は『民間からのこのような提案は歓迎する。樹木の件は沢山課題がある。大通公園の大樹も老齢化していて、今後の維持は課題である。このような市民意識の醸成は行政にとっても重要である』と。きっと札幌市からも何かいい方向が示されるだろう。

今後は地区3・4・5グループのクラブに浸透し、地域の多クラブ共同事業として作動するか、といった課題がある。ただ、クラブの垣根を超える奉仕活動にはこれまで数多くの実績がある、時間とともに広がるだろう・・・。何と云っても樹木の育成に150年かかる運動であるからと思っている。

新会員のご紹介

(敬称略)



訃報 謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します

札幌東RC
坂東 宗一 会員
2018年10月15日
ご逝去(享年80歳)

【ロータリー歴】
1982年10月7日 入会
1987-1988年度 幹事
1998-1999年度 国際奉仕委員長
2001-2002年度 副会長・職業奉仕委員長
2003-2004年度 第45代会長

【表彰】米山功労者メジャードナー(11)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(6)

函館東RC
福嶋 貢 会員
2018年11月10日
ご逝去(享年86歳)

【ロータリー歴】
1982年4月 入会
2004年12月 退会
2013年4月 再入会
1989-1990年度 幹事
1994-1995年度 会長

【表彰】
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)

函館北RC
山下 清司 会員
2019年1月27日
ご逝去(享年68歳)

【ロータリー歴】
1999年1月 入会
2006-2007年度 幹事
2008-2009年度 会長
2018-2019年度 現幹事

【表彰】
ポール・ハリス・フェロー

幹事変更のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、現幹事がご逝去致しましたので、新幹事は下記の通りになりましたのでお知らせ致します。
新幹事：弗田 和則 会員

函館北ロータリークラブ

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌南RC	武部 實 会員 (5回)	2月21日	苫小牧東RC	菅野 嘉一 会員 (3回)	2月25日
札幌南RC	福山恵太郎 会員 (5回)	2月21日			
新札幌RC	知念 浩 会員 (1回)	2月28日	米山功労クラブ		
新札幌RC	高橋 雅行 会員 (3回)	2月28日	苫小牧東RC	(9回)	2月25日
新札幌RC	大石 清司 会員 (3回)	2月28日			

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別RC	北 正信 会員 (3回)	2月21日
札幌南RC	伊藤 清 会員 (1回)	2月21日
札幌南RC	山本 勤 会員 (2回)	2月21日
札幌南RC	夏井坂信幸 会員 (3回)	2月21日
札幌南RC	徳中 征之 会員 (3回)	2月21日
札幌南RC	平 昌夫 会員 (1回)	2月21日

ポール・ハリス・フェロー

江別西RC	高田 寛司 会員	2月26日
札幌北RC	蓑輪 隆宏 会員	2月 1日
札幌南RC	鈴木 崇 会員	2月21日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2019.3.13

Vol. 228

「絆in モンゴル」のご案内

今年7月27日に、ウランバートル市内で「絆 in モンゴル」が開催されます。このイベントは2年に1度、学友会が協同で開催する米山ファミリーの集いで、2017年の熊本に続く今回は、モンゴルで開催されます。米山学友、また学友会同士のつながりを強化するだけでなく、支援するロータリアンもその成

果を実感し、学友との絆を深める交流の場となっています。

米山学友・奨学生、ロータリアンの方々には、奮ってご参加ください。航空チケットはお早めに手配されることをおすすめします。皆でモンゴルに集まりましょう！

日時：2019年7月27日(土)・28日(日)

場所：モンゴル国ウランバートル市 The Corporate Hotel and Convention Centre
(チンギスハーン国際空港から車で約30分)

登録料：ロータリアン: ¥15,000、米山学友・奨学生・ご家族: ¥7,000 (小学生以下は無料)

締切：2019年4月30日(火)

※問い合わせ先などの詳細は当会HPに掲載されている、モンゴル学友会からの案内(pdf)をご覧ください。
[ロータリー米山](#) で検索! [トップページ](#) > [重要なお知らせ](#) > [絆 in モンゴル/Kizuna in Mongolia](#) のご案内

学友会創立10周年！ — 第2620地区 —

3月3日、第2620地区(静岡・山梨)米山学友会の創立10周年記念式典が、米山梅吉記念館(静岡県駿東郡)で開催されました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、午前中に行われた期間終了式に参加した奨学生のほか、学友24人、大学関係者7人、ロータリアン52人など、計107人が参加する盛大な式典となりました。はるばる韓国や岡山県から同地区出身学友が訪れ、第2760地区米山学友会、東京米山学友会、第2530地区米山学友会の各会長もお祝いにかけつけました。

式典は、スリランカの伝統的なオイルランプ点灯の儀式からスタート。当会の齋藤直美理事長、同地区理事の井上雅雄氏、同地区ガバナーエレクトの安間みち子氏、ラシタ・エリヤーク会長らが、厳かな表情で次々と火を灯しました。過去・現在・未来をテーマに、歴代の地区米山奨学委

員長が創設当時の苦労話やこれからの期待を語って、ラシタ会長から歴代委員長へ感謝状が贈呈されたほか、10年間を振り返るスライド上映や、同学友会が推進している「モンゴルの子どもたちに夢の本を贈る」活動などについて、理事のエンフボルド・ボロルトヤさんから説明がありました。余興にはスリランカ民族舞踊とモンゴル馬頭琴・ホーミー(喉歌)が披露され、国際色豊かな式典となりました。ラシタ会長は「これからも、皆さまのご支援を米山学友会の力とし、一生懸命に邁進したい」と、語りました。



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2019年4月号

NEWS

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■「会員増強と会員維持」

ロータリーには、重要な媒体が三つあります。第一は、ロータリアン、第二は、ロータリークラブ、第三が、国際ロータリーです。この三つの媒体の中で一番大事なものは何か？それはロータリアンです。

ロータリアンが集まってロータリークラブが作られ、ロータリークラブが世界中から集まって国際ロータリーが成り立っているのです。これら三つの媒体の中核にあるのはロータリアンです。

国際ロータリー (Rotary International RI) とは、クラブの連合体であり、奉仕理念の提唱、ロータリーの拡大、情報媒介、連絡調整をその役割としています。ロータリーの奉仕の理念を社会に提唱することと、奉仕理念を社会に提唱していく拠点としてのロータリークラブを地域社会に創って行くことであります。このことが、会員増強に力を入れている本質的な理由なのです。会員が増えてほしいという本来の目的は、奉仕の理念を理解し、追求し、実践してくれる人々が一人でも多く集まって欲しいからなのです。

この中核となるロータリアンが、減少傾向にあることは大変残念なことです。

新しい会員が入会し、それと同じくらい会員が3年もしないうちに退会し、結局会員数は増えないままです。世界で120万人いる会員は、約20年間増えていないのです。日本では、12万人いた会員が9万人になり、かつては3.5ゾーンあったものが、現在の3ゾーンから、ついに2.5ゾーンになってしまいます。

皆さんのクラブでは、会員が大切にされているでしょうか。一生のお付き合いをしたいと思いつつ友と接しておられるでしょうか。半ば無理やり入会させられて、後はほったらかし…。3年も経たないうちに興味をなくし、友情を感じることもなく退会してゆく。

50年も前に、あるガバナーが、会員増強についてこんなことを話されました。「今や原石を磨く時ではないか」、その言葉が忘れられません。仲間を大切に、一人でも多くの人々の役に立ちたい、地域のニーズに応えるお手伝いをしたい、という善意の人々の集まりであるロータリーの本質を私たち会員が今一度考える時でないでしょうか。この方と出会えてよかったと思えるその仲間を大切にすることから再出発することこそが必要なのでは、と思うのです。

国際ロータリー 理事 三木 明(姫路RC)

■「My ROTARYの登録をお願いします」

「My ROTARY」は国際ロータリーが管理している、インターネット・ウェブサイト上に開設されているロータリーの情報サイトです。登録を行っていただくことによって、ロータリークラブの活動や地区・クラブ運営に必要な情報等を入手できるほか各種資料のダウンロードが可能なる便利なサイトです。同ウェブサイトで簡単に国際大会の登録やロータリー財団へ寄付も行えますので登録をして活用をお願いいたします。

■「My ROTARY登録率に関する1月のレポート」

日本国内各地区の登録状況を見ると4地区が50%以上の登録率で、10～20%の登録率の地区が8地区あります。

全地区の平均登録率は28.66%で昨年同時期の21.65%で約5%上昇しています。

何らかの登録上の不都合で約1.5%がPendingになっていますので合わせると30%を超えますから、今一度、ご自身の登録状況を確認してみてください。

ゾーン別の平均登録状況は

第1ゾーンが27.42%

第2ゾーンが28.18%

第3ゾーンが30.63% になっています。

左の表は平均値以上の登録率の地区一覧です。特に上位の地区はこの1年間に大幅な登録がされているのが目立ちます。

地区	2018/1月	2019/1月
2660	36.27%	57.35%
2770	32.10%	52.97%
2530	45.27%	52.55%
2680	21.54%	51.10%
2750	42.68%	43.76%
2820	39.19%	41.66%
2740	24.34%	41.10%
2620	38.50%	39.80%
2780	25.93%	36.11%
2760	27.19%	33.25%
2550	29.75%	31.48%
2510	23.01%	29.92%
2570	24.30%	29.83%

第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井 正人(函館五稜郭RC)

ロータリー探訪



公平平等と尊敬信頼

第2510地区職業奉仕委員長

玉井 清 治

(函館亀田RC)

ロータリーは全ての人を対等に扱います。ロータリアン相互の間で上下の階級でものを考えてはいけないうことを遠い昔から続けてきました。福沢諭吉先生の言葉のようにロータリアンは人の上に人をつくらず、人の下に人をつくりません。会長をやったから幹事をやったから、または、ガバナー補佐をやったからと言って、その役職は決して上の地位を彼や彼女に与えたと言うことではなく、機能の配分上そういうことをやって下さいと頼まれているに過ぎないと思うべきだというのが、ロータリーの考え方です。職業人から構成されているロータリアンはそれぞれ企業(事業所)の管理者ですから、その管理者としての機能を果たすべく社長という地位を与えられているに過ぎないと思って、その与えられた機能を十分に果たせば、尊敬され部下の信頼を勝ち取る事ができ、その信頼に裏付けられて自分が管理する企業が益々栄えて行くという事になる。こういう人間対等論に立って物ごとを考えることが、ロータリーの考え方であり、自分の事業所の永続的繁栄に向けたトレーニングだと思えます。

それでは、会長・幹事と地区ガバナーとは対等の関係にあるのでしょうか？

会長・幹事はロータリークラブという自治団体の代表者であり、国際ロータリー(以下RI)会長も自治団体の代表者でありますから、お互いに平等・対等であります。よって、RIのほうがロータリークラブより地位が高いのではありませんし、ガバナーの方が会長・幹事より偉いのもありません。

RIは全世界のロータリークラブの連合組織体です。ロータリアンの連合組織体ではありません。1910年にクラブ内の親睦と奉仕・拡大を巡って大論争が起こったときに、それを收拾するために、奉仕理念の提唱と拡大を受け持つバッファラーとして作られた組織がRIです。すなわち当時すでに創立されていた16のクラブの連合体として設立された組織ですから、本来その権限はクラブと同等のはずです。RIとロータリークラブとは委託関係にあります。まずはクラブがあって、その連絡調整に関する事項をRIに委託したわけで、RIは受託者であります。受託者は委託された権限以外のものは行使することが出来ません。それではクラブがRIに委託した内容とはいったい何なのでしょう？①奉仕哲学の追及②ロータリーの拡大③情報の媒介この3つです。これ以外には無いと思います。色タールの改正等ありましてこの3つのどれかが動いているわけであり、社交クラブの基本原則を著しく侵害するような規則変更は認められません。それとRIの行使する権限は2つあります。①は指導と助言です。これに対して相手方はNOという自由を持っております。相手方というのはロータリアンではなく、ロータリークラブです。②が直接監督権です。クラブがRI定款・細則および

クラブ定款に違反した場合だけに限られますが、これにはNOがありません。NOに対しては懲戒規定があります。

1922年にお互いのクラブは共通のルールで運営すべきだということで標準ロータリークラブ定款が制定され、それに伴ってRIに直接監督権が与えられました。この直接監督権はRI定款、RI細則、標準ロータリークラブ定款にクラブが違反した場合にのみこれが行使できます。従ってこの3つの規約に違反しない限り、ほとんどすべての活動はクラブが自由に選択することができます。奉仕活動の実践に関してもRIは要請することはできても、強制することはできません。クラブの義務と責任を考えて、各クラブが自由に自分のクラブの規模や能力を考えながら奉仕活動の実践をすることが大切だと思います。

ところで、入会間もない新会員さんが「ガバナーは雲の上の人ですよネ!」と問いかけられたら皆様は何とお答えになりますか？

私は「ガバナーをリスペクトしています!」と答えます。この「リスペクト」とは上下関係を指すものではありません。多種多様な考え方が飛び交っている地区内で、自分と違う主張を持っている人を否定しない「尊敬」するものであります。ガバナーや歴代パストガバナーは、その年度を命がけで職責を果たされてきました。目を閉じればその年度、年度、1年間真剣に取り組み、自らの仕事を投げうって地区内クラブのために全力を投じてきた姿を私たちは見えています。また、多様な意見を尊重し大切にしてくれました。それが感動を生み、人柄に惚れ、上から目線でない温かい心でいつも接してくれていることで私たちは友達のような気持ちになってしまいます。そして心からリスペクトし、自然に尊敬の念を持ちます。その結果、彼も私達から信頼され慕われています。ロータリーにおける「徳の支配」といえるのではないのでしょうか。

ロータリーとは、対立する政治、哲学、宗教、信条の違い、文化的価値の違いが唱える「否定」を潔しとせず、これを超越することによって障壁の全てを乗り越えていく生きかたであり、この違いに関する究極の問題に対して対決するのではなく、寛容の精神でこれらが持つ価値を他人の立場に立って考えて、人間性を高める生き方なのでしょう。

日頃、360度上下関係で仕事をしている私たちにロータリーは「公平平等」の世界を提供し、訓練の場を与えてくれています。ただ、一点注意すべきは、「親しき仲にも礼儀あり」といわれるように、年長者に対する礼を失ってはならないことは当然のことです。

〈引用文献:第2510地区 塚原房樹PG著「自己研鑽の目的意識を持って」より〉

地区カレンダー(4月・5月)

4月 母子の健康月間	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	岩見沢ネクストロータリー衛星クラブ認可祝賀会
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	
14(日)	地区研修・協議会(千歳)
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	深川RC創立40周年記念式典
21(日)	洞爺湖RC創立50周年記念式典
22(月)	
23(火)	
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	第6グループIM(余市)
29(月)	昭和の日
30(火)	祝日

5月 青少年奉仕月間	
1(水)	天皇即位の日
2(木)	祝日
3(金)	憲法記念日
4(土)	みどりの日
5(日)	こどもの日
6(月)	こどもの日振替
7(火)	
8(水)	
9(木)	
10(金)	
11(土)	長沼国際フェスティバル
12(日)	第1グループIM(留萌)
13(月)	
14(火)	
15(水)	
16(木)	
17(金)	
18(土)	RYLAセミナー(様似) ~19日(日)
19(日)	
20(月)	
21(火)	
22(水)	
23(木)	
24(金)	
25(土)	第7グループIM(恵庭RC)
26(日)	羽幌RC創立40周年記念式典
27(月)	
28(火)	
29(水)	
30(木)	
31(金)	

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.2.28	増減	内女性	
1	深 川	3	33	32	-1	1	79.17
	羽 幌	3	46	45	-1	2	63.70
	妹背牛	4	7	7	0	0	85.71
	留 萌	4	33	34	1	3	75.71
	小 計		119	118	-1	6	76.07
2	赤 平	4	27	26	-1	2	70.78
	芦 別	3	31	31	0	2	71.11
	砂 川	4	40	41	1	1	96.60
	滝 川	4	93	95	2	4	68.00
	小 計		191	193	2	9	76.62
3	美 唄	3	26	27	1	0	89.93
	江 別	4	32	34	2	1	78.91
	江 別 西	4	30	32	2	4	88.20
	岩 見 沢	4	74	88	14	0	93.81
	岩見沢東	3	17	17	0	2	72.06
	栗 沢	3	19	18	-1	1	88.70
	栗 山	3	25	27	2	5	92.31
	当 別	3	27	29	2	0	77.63
	小 計		250	272	22	13	85.19
4	札 幌	3	121	133	12	2	98.42
	札幌はまなす	3	16	18	2	2	68.00
	札 幌 北	3	40	44	4	4	82.88
	札幌モーニング	3	34	33	-1	0	74.71
	札 幌 西	3	50	49	-1	9	76.06
	札幌西北	4	34	33	-1	3	78.40
	札幌手稲	4	37	39	2	4	82.46
	小 計		332	349	17	24	80.13
5	札 幌 東	4	125	123	-2	0	97.33
	札幌清田	3	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	4	66	56	-10	3	97.64
	札幌真駒内	4	23	25	2	7	100.00
	札 幌 南	3	88	92	4	2	98.48
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	53.57
	札幌ライラック	2		20		6	82.50
	新 札 幌	3	25	27	2	5	84.50
小 計		354	370	16	31	89.25	
6	岩 内	3	20	20	0	1	95.00
	倶 知 安	3	36	34	-2	3	67.00
	小 樽	4	71	74	3	5	79.09
	小 樽 南	4	65	65	0	4	82.30
	小樽銭函	3	22	24	2	1	83.00
	蘭 越	3	9	9	0	0	86.00
	余 市	3	43	42	-1	5	85.60
	小 計		266	268	2	19	82.57

会
員
増
減
数
・
2
月
出
席
率

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,544人
当月末会員数(女性)	2,637人(172人)
増加会員数	93人
当月平均出席率	79.09%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.2.28	増減	内女性	
7	千 歳	3	69	77	8	9	81.80
	千歳セントラル	2	39	42	3	8	64.29
	恵 庭	4	49	53	4	3	78.13
	北 広 島	3	16	15	-1	0	89.29
	長 沼	2	17	16	-1	3	69.38
	由 仁	2	7	8	1	1	43.75
小 計		197	211	14	24	71.11	
8	え り も	2	17	21	4	1	100.00
	三 石	3	13	13	0	0	60.00
	様 似	3	17	17	0	1	73.53
	静 内	4	72	70	-2	4	82.25
	浦 河	3	26	28	2	3	93.00
	小 計		145	149	4	9	81.76
9	伊 達	3	64	64	0	1	76.87
	室 蘭	3	32	34	2	2	56.97
	室 蘭 東	4	34	38	4	3	75.00
	室 蘭 北	4	46	47	1	2	69.88
	登 別	4	25	25	0	1	76.00
	洞 爺 湖	2	9	9	0	0	100.00
小 計		210	217	7	9	75.79	
10	函 館	4	76	82	6	1	77.44
	函館亀田	3	43	42	-1	4	64.22
	森	3	35	35	0	0	62.90
	七 飯	4	12	12	0	0	70.83
	長 万 部	2	10	11	1	0	45.45
	函館セントラル	4	23	23	0	2	82.17
小 計		199	205	6	7	67.17	
11	江 差	2	10	10	0	1	65.00
	函館五稜郭	3	54	55	1	0	80.83
	函 館 東	4	45	42	-3	8	73.52
	函 館 北	3	16	19	3	0	82.07
	北 斗	4	12	12	0	0	52.00
小 計		137	138	1	9	70.68	
12	白 老	3	30	30	0	3	80.80
	苦小牧	3	59	62	3	3	82.60
	苦小牧東	4	27	27	0	4	89.12
	苦小牧北	4	28	28	0	2	91.67
	小 計		144	147	3	12	89.64
合 計		2,544	2,637	93	172	79.09	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員0名)を含む



ロータリアンの皆さま

ロータリー国際大会は、一つの街で世界レベルの体験ができる、ほかに類を見ない行事です。ヨーロッパの「世界への玄関口」とも称されるハンブルグでの大会は、ロータリー世界への扉を開く機会となります。インスピレーションあふれる本会議で一日を始め、あらゆる関心と熱意に応える分科会に出席したら、新旧のご友人たちと一緒に、歴史豊かな湾岸都市の探索へと出かけましょう。古くからの建造物とモダン建築を眺め、多文化の食事を味わい、運河が入り組む街の散策をお楽しみください。

ハンブルグでの第110回ロータリー国際大会（2019年6月1～5日、於ハンブルグメッセ）に皆さまをお迎えできることを心から楽しみにしています。インスピレーション、新しいアイデア、友情、そして楽しみに満ちた国際大会。ハンブルグで、一生の思い出をつくりましょう！

バリー・ラシン

Rotary 

 2019
HAMBURG



表紙写真

札幌市中央区 中島公園の桜と残雪の藻岩山

撮影者：野口観光ホテルプロフェッショナル学院・

北海道文教大学外国語学部国際言語学科 講師 今野哲郎

